

◆マーク・ガール

(トロンボーン／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)

1978年ウィーン生まれ。7歳の時にテナーホルンの手ほどきを受け、ほどなくトロンボーンを学びはじめた。1992年よりグラーツの音楽・舞台芸術大学のオーバーシュッツェン研究機関で研鑽をかさね、在学中にウィーンの名オーケストラとコンサートツアーをするなど若い頃から頭角をあらわし、2000年に卒業。2002年ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団し、2007年にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団でロータリーバルブ・トランペットを演奏しはじめている。2012年以来ウィーンフィルのバストロンボーン奏者。また、ウィーン音楽大学で後進の指導にもあたり、日本でも、札幌で開催されるパシフィックミュージックフェスティバル（PMF）など、マスタークラスの講師を務める。

フィル・ブレッヒ・ヴィーン、ウィーン・トロンボーン・アンサンブル、プロ・ブラスなどアンサンブルや、さらにジャズバンドへも参加するなど活動の場は広範囲にわたり、ブラスバンド作品の編曲もこなすアレンジャーでもある。